

《2025年度 学校関係者評価書》

学校法人吉備学園
岡山商科大学専門学校
校長 森 尚 貴

2025年度の学校関係者評価（2026年2月21日開催の第2回学校関係者評価委員会で実施）を行ったので、その結果を次のとおり公表する。

記

1. 学校関係者評価委員名

所 属 等	種 別
全国旅行業協会岡山県支部 支部長 田中 雅彦	企業関係者
岩本 伸也	卒業生
松村 知恵	保護者
京山地区育成協議会 顧問 吉本 賢二	地域関係者
学校法人吉備学園 専務・事業理事 (法人事務局長) 三浦 一男	学校法人

2. 学校関係者評価結果、評価委員の提言及び提言に対する学校の改善方策

※評価基準 4：適切、3：ほぼ適切、2：やや不適切、1：不適切

【学校及び評価委員の評価結果の数字は、学校教職員及び評価委員の平均評価「小数点第1位まで表示（小数点第2位を四捨五入）」】

〈1：教育理念・目標〉

評 価 項 目	評 価	
	学 校	委 員
①学校の教育理念・目的・育成人材像は定められているか	3.8	3.4
②学校の教育理念等の達成に向けた取組を行っているか	3.8	3.4
③社会の変化・ニーズなどに対応した将来的な展望を描いているか	3.8	3.4

〈２：学校経営〉

評 価 項 目	学 校	委 員
①学校経営目標を達成するための事業計画を定めているか	3.9	3.4
②学校経営のための組織を整備しているか	3.8	3.6
③人事・給与に関する規定等を整備しているか	3.8	3.4

〈３：教育活動〉

評 価 項 目	学 校	委 員
①学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.8	3.4
②キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.7	3.2
③授業評価を実施しているか	3.7	3.4
④成績評価・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.8	3.6
⑤教職員の資質向上のための取組を行っているか	3.6	3.2

〈４：学修成果〉

評 価 項 目	学 校	委 員
①大学進学及び就職率向上のための取組を行っているか	3.4	3.2
②国家試験合格率・資格取得率向上のための取組を行っているか	3.6	3.4
③卒業生の社会的な活躍及び評価を把握し、それを学校の教育活動の改善に活用しているか	3.4	3.4

〈５：学生支援〉

評 価 項 目	学 校	委 員
①進学・就職に関する支援体制を整備しているか	3.5	3.6
②学生相談に関する体制を整備しているか	3.7	3.6
③学生に対する経済的な支援体制を整備しているか	3.7	3.2
④学生の健康管理を担う組織体制を整備しているか	3.8	3.2
⑤課外活動に対する支援体制を整備しているか	3.7	3.4
⑥退学・除籍率低減のための取組を行っているか	3.8	3.6

〈６：教育環境〉

評 価 項 目	学 校	委 員
①施設を教育上の必要性に十分対応できるよう整備しているか	3.3	3.2
②設備を教育上の必要性に十分対応できるよう整備しているか	3.3	3.2
③学内における安全管理体制を整備しているか	3.8	3.6
④防災に対する組織体制を整備しているか	3.8	3.4

〈７：学生の受け入れ募集〉

評 価 項 目	学 校	委 員
①学生募集活動を適正かつ効果的に行っているか	3.4	3.4
②入学選考基準を明確にして、適正に入学選考を実施しているか	3.8	3.6
③学納金は妥当なものとなっているか	3.8	3.4

〈 8 : 財 務 〉

評 価 項 目	学 校	委 員
①中長期的に学校の財務基盤が安定するよう取組を行っているか。	3.8	3.2
②予算・収支計画に基づき、適正に予算執行管理を行っているか	3.8	3.4
③財務について適正に監査が行われているか	3.8	3.2
④財務情報を公開しているか	3.8	3.2

〈 9 : 法令等の遵守 〉

評 価 項 目	学 校	委 員
①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運用がなされているか	3.8	3.4
②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.8	3.4
③自己評価や学校関係者評価を実施し、問題点等の改善を行っているか	3.8	3.6
④自己評価結果や学校関係者評価結果を公開しているか	3.9	3.4

〈 10 : 社会貢献・地域貢献 〉

評 価 項 目	学 校	委 員
①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行なっているか	3.6	3.4
②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.3	3.4

〈 11 : 国際交流 〉

評 価 項 目	学 校	委 員
①留学生の受入れと在籍管理が適切になされているか	3.8	3.4
②留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3.8	3.6
③留学生と日本人学生の交流は図られているか	3.7	3.4

〈１２：評価委員の提言【評価項目１～１１についての総括的な意見】〉

- ①地元企業との結びつきを、より以上にしていき、就職に結びつけていくことが必要だ。
- ②少子高齢化の時代、学生数の減、大学関係者の減など厳しい時ですが、「学生目線」を忘れることなく、知恵をしぼって尽力ください。
- ③学校は教育の質、生徒数確保のために常に工夫を重ねられていると思います。登校時に校門付近で学生へ声かけや掃除等を先生方がされているのを見ました。評価項目にはありませんが、良いと思われることは率先してされているように思います。２０２５年度の学園祭に伺いました。いろいろな国からきた留学生が楽しんでいる様子でよかったと思います。
- ④教職員が少ない中で評価項目全般にわたって適切な指導、対応がなされていると認められる。日本人学生については、PR等をしっかり行い、学生数を増やすよう努力してほしい。
- ⑤今の現状を維持しつつ、もっと改善できることを察し、学校運営が赤字にならないように多くの学生確保を願う。

〈１３：評価委員の提言に対する学校の改善方策〉

- ①合同企業説明会など企業が開催するイベントやインターンシップに多くの学生を参加させている。今後も引き続き、地元企業との連携を深める。
- ②学びやすく、充実した教育環境で、楽しい学校生活が送れ、就職も進学も良い学校だと多くの学生に認められるよう努力する。
- ③教職員と学生とのコミュニケーションを図り、居心地の良い学校づくりや近隣地域でのゴミ拾いなどにより地域との良好な関係を構築する。
- ④岡山商科大学３年に有利な条件で入学でき、トラベル観光学科は旅行業務に関する国家資格が取得できる数少ない専門学校であることなど、学校の名前の浸透を目的とした広報活動を展開し、日本人学生を増やすよう努力する。
- ⑤時代のニーズや受験生の現状に即した新しい入試形態（入試時期の前倒しなど）へ移行し、安定的な学生確保に努める。